キャンパス万華鏡　SDGs達成に向けた大学の取り組み

SDGsをテーマとするPBL　大阪大谷大学

大阪大谷大学人間社会学科では、１年生・２年生配当の複数の科目で、SDGsをテーマとするPBLを行っている。これらに加えて、同学科の岡島ゼミ（３年生）では、SDGsが前提とするゴール間の統合性にこだわり、ゴール16やゴール17の達成にも資する、全国の先進事例についてZoomで聞き取り調査を行った。調査結果は、大学近隣地域にある地域交流拠点で公開ゼミを開催し、自治体や市民団体のスタッフに共有した。

地域の課題に取り組む　静岡産業大学

静岡産業大学では、地域が抱える課題に取り組む力を育むための「実学教育」に力を入れており、例えば、磐田市内に一人暮らしを始めたばかりの若者や外国人居住者のための「ゴミ分別アプリ」の開発などがある。こうした同大学の教育活動をSDGs達成に向けた観点で可視化し、それを高校生や大学生向けのSDGs解説冊子として配布することで、SDGsを身近に感じながら学びへの興味・関心を深めてもらうことをめざしている。

学生が学食の食料廃棄物削減策を提案　日本工業大学

学生によるワークショップ「SDGsキャンプin日工大」を実施。目標12（つくる責任、つかう責任）の視点で学食の廃棄物削減、健康管理、利用率向上に関する意見を学生から募り、146人から回答を得た。結果をもとに、ライスの量や単品メニューを選択可能にするなど、食料廃棄物削減に向けた具体的な解決策を提案書にまとめた。食堂運営会社と協議を行い、提案の実現を目指している。

SDGｓの認知度向上イベント　近畿大学

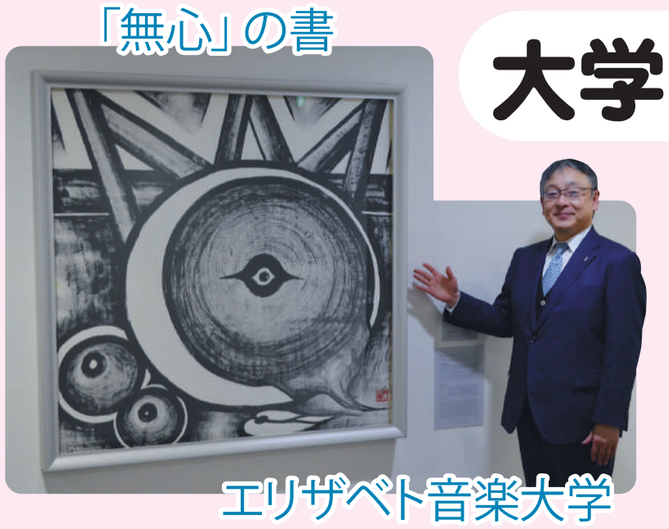
近畿大学では、「SDGs WEEK in KINDAI」というイベントを毎年開催しており、今年は、SDGsの目標「5.ジェンダー平等を実現しよう」「10.人や国の不平等をなくそう」「12.つくる責任つかう責任」について認知度を高めるため、衣類のリサイクルという若者にとって身近で理解しやすいテーマで、「古着ファッションショー」を開催した。学生から回収した古着にリメイクやスタイリングを施し、おしゃれな衣装へと変身させた。

大学トップの意外な〇〇

宝物の絵本　東京薬科大学

東京薬科大学の楠文代理事長が、大事にしているものは絵本である。自身の娘で絵本作家である故・楠ふき子（享年25歳）が病気で亡くなる前に描いた絵本の数々は、楠理事長の宝であり、八王子みなみ野の雑木林の中に2012年古民家を改修して作ったKUSUTTO HOUSEに、絵本の原画を展示している。その中でも作者一番のお気に入りであった『ちびっこりんご』は、理事長本人が幼稚園などに直接出向き、読み聞かせなどを行っている。

「無心」の書　エリザベト音楽大学



学長室外側廊下に掲げられている、前衛書道家竹澤丹一（1907-1999、元広島大学教授）作「無心」（1985）。竹澤氏の親族から大学に寄贈されたもの。最初は絵画のように見えたが、しかし実際には、筆により草書体で「無心」と書かれている。この作品を見た多くの方が「目玉おやじみたい」と話す。入退室するたびに「無心・無欲でありなさい」と語りかけ、私利私欲は宇宙の彼方に吸込まれているように感じている。(理事長・学長川野祐二)

学長は祭り好き　名城大学

名城大学の小原章裕学長は播州・姫路出身の祭り好き。秋祭りになると血が騒ぐ。毎年10月、郷里の大塩天満宮秋季例大祭に合わせて帰省し、勇壮な屋台の巡行や兵庫県重要無形民俗文化財の「毛獅子の舞」に興奮する。「皆が同じ方向に向かって力を合わせなければ屋台は動かない。大学運営も同じ」と小原学長。広大な塩田の跡地にはソーラーパネルが広がる。「昔は天日で塩を作ったが、今は天日で電気を作っている」とふるさとの変貌ぶりを表現する。

『白雪姫』のオリジナル楽譜　国立音楽大学

国立音楽大学の吉成順 副学長のお宝は、世界初のカラー長編アニメ映画、ディズニー『白雪姫』（1937）の製作で用いられた手書きの楽譜(ファクシミリ版)。映像と音楽をシンクロさせるために全編の内容を楽譜化し、音楽のどの部分にどういう映像やセリフが対応するかを示している。今ならコンピューター上で行う作業に当時は大変な手間をかけていたことが分かる貴重な証拠。限定400部、これはそのうちの291番。番号付き。

学長の「サラメシ」　朝日大学

20年以上の単身赴任を続ける朝日大学（岐阜県）の大友克之学長は、新型コロナウイルスが蔓延する前は年間に１００回以上は新幹線を利用していた。そんなサラリーマン学長の昼食、いわゆる「サラメシ」には、乗車駅である新横浜駅で購入する「シウマイ弁当」がたびたび登場する。週に2回「シウマイ弁当」を見たときは驚いたが、本人曰く「好きなんだ」そうだ。地元紙のコラムに、個性的な醤油さし「ひょうちゃん」について書いたこともある。この「シウマイ弁当」には食べ方図説なる本もあるようであるが、学長がどの順番で食べているかは謎である。

新ちゃん、音ちゃん、浜ちゃん　近畿大学

近畿大学の細井美彦学長は、生物理工学部に着任以来、新ちゃん、音ちゃん、浜ちゃんと3代続きで猫と暮らしている。がんで手術する音ちゃんに、輸血する血液をくれた縁で学長の家に来た浜ちゃんは、動物病院にいた保護猫で12歳、よく懐いてくれて左肩に乗り昼寝をする。耳元でゴロゴロと喉を鳴らす音は、混沌とする思案をほぐし、見落としていた手がかりが転がり出すお膳立てをしてくれる学長のファイナルウェポン。

アラビア語会話・用語集作成　大阪国際大学

大阪国際大学の伊藤省二副学長は、1978年8月エジプトカイロ国際空港に降り立った。人生を変える第一歩となった。カイロで2年間アラビア語を学び（留学）、その後サウジアラビア、クウェート、アラブ首長国連邦で勤務、アラビストとして21年間中近東の仕事に携わってきた。オイルダラーで一変し紛争と戦争を繰り返すアラビア半島、生活や仕事はアラビア語が必須だった。そこでアラビア語の会話・用語集を作り、現地で生活・勤務する日本人が活用。副学長の思い出と汗の詰まった逸品（１冊）となっている。

自然の造形美に魅せられて　崇城大学

崇城大学の中山峰男学長は100点超の貝殻を自宅にコレクションしている。貝殻を本格的に集め始めたのは、屋久島に行った40代の頃。貝殻の自ら作り出す不思議で美しい造形に尽きない魅力を感じている。家族旅行では決まって海に囲まれた場所を選び、貝殻探しに没頭する。砂浜を入念に歩き、魅力的な貝殻と出会った瞬間は、宝物を見つけたような格別の喜びだという。日々の仕事に追われながらも、自然と向き合う時間を大切にしている。

多彩な学長　武蔵野音楽大学

武蔵野音楽大学の福井直昭学長は、多々ある趣味の中でも、野球・格闘技・将棋・音楽は、幼少の頃から一貫して熱中してきたジャンル。特にアマ五段の将棋では、名人3期を誇る佐藤天彦九段と、最近TV番組で対局（同九段とは、クラシック演奏会鑑賞やフットサルで交流の他、ピアノを教えている）。写真は、佐藤九段揮毫扇子、マイケル・ジャクソンGold disc、A.猪木氏ポスター、イチロー氏ユニホーム、干支に因んでタイガーマスク、浜田省吾氏サングラスレプリカ、吉川晃司氏がコンサートで投げたピック等、御本人からのサイン入りも含め、あれこれ。